



2007.4

No. 159

毎月5日発行 定価1部10円(組合員の購読料は組合費を含む)
1996年3月8日第三種郵便物許可

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者 佐藤 富夫

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL(011)210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

統一自治体選挙の前半戦を終えて

知事選 / 荒井候補、大差で敗北、道議選では民主が躍進
上田再選、市議選は民主と自民拮抗へ / 札幌市長選



2007年4月8日

日本労働組合総連合会
北海道連合会

会長 渡部 俊弘

第16回統一自治体選挙の最大焦点であった北海道知事選挙は、昨日から今日未明にかけて投開票が行われ、その結果、私たちが推薦して戦った荒井さとし候補は、大差で敗北するという極めて残念な結果となった。

荒井候補は、国会議員を辞職し、北海道を立て直そうと最後の最後まで愚直に政策を訴え続けながら戦った。私たちは、このことに深く感謝の意を表し労いの言葉を贈りたい。同時に、街角でのフリートークなど、候補と一丸となって応援を続けられたご家族のみなさんの姿には深い感動が呼び起こされた。

また、同時に投開票された道議会議員選挙では、痛い二人の現職落選があったものの、民主党公認・推薦候補が大きく議席(42)を伸ば

して躍進した。このことは、多くの道民のみなさんが依然として北海道の現状に不安を持っており、現職知事の再選を選択したことが、イコ-ル現状維持を意味するものではないことを物語っている。

さらに、札幌市長選・市議選では、上田候補が再選され、市議選では、民主(21)と自民(23)が拮抗した議席となり、札幌市民は、上田市政の継続発展を議会サイドからも期待したものといえる。

連合北海道は、今回の知事選での結果を厳粛に受け止め、敗北した要因などについて検証し、今後、教訓とすべき課題とそのための改革方向をまとめていく考えである。当面は、差し迫った統一自治体選挙の後半戦の戦いに全力をあげる決意である。

構成産別・地協・地区連合、組合員・家族、退職者のみなさんをはじめ、前半戦の戦いに協力いただいたすべてのみなさんに心から感謝する。ありがとうございました。

以上

道議・札幌市議

民主党大きく躍進!!

第16回統一自治体選挙道議会議員選挙では、連合北海道推薦候補49名中41名が当選を果たしました。また、札幌市議選は推薦候補24名中22名が当選し、道議・札幌市議とも民主党が議席を大きく伸ばしました。

道議

札幌市中央区
(5期) **だんざか 繁美**

札幌市西区
(1期) **道下 大樹**

札幌市南区
(4期) **林 大記**

札幌市東区
(4期) **星野 高志**

札幌市東区
(3期) **久保 雅司**

札幌市北区
(3期) **えびな 清悦**

札幌市豊平区
(3期) **佐野 法充**

札幌市白石区
(1期) **広田 まゆみ**

札幌市清田区
(1期) **かじや 大志**

札幌市手稲区
(2期) **すだ 靖子**

小樽市
(2期) **池田 隆一**

後志支庁
(1期) **いちはし 修治**

札幌市厚別区
(5期) **伊藤 政信**

北広島市
(4期) **沢岡 信広**

江別市
(2期) **勝部 けんじ**

石狩市・石狩支庁
(2期) **織田のぶよし**

旭川市
(3期) **木村 峰行**

旭川市
(3期) **三井 あき子**

上川支庁
(1期) **北口 雄幸**

釧路市
(1期) **橋本 豊行**

釧路支庁
(3期) **岡田 篤**

函館市
(5期) **平出 陽子**

函館市
(3期) **さいとう 博**

函館市
(2期) **高橋 とおる**

北斗市
(2期) **ながお 信秀**

渡島支庁
(3期) **おかだ 俊之**

檜山支庁
(2期) **ふくはら 賢孝**

室蘭市
(4期) **たきぐち 信喜**

苫小牧市
(3期) **沖田 龍児**

伊達市
(1期)
中山ともやす

胆振支庁
(2期)
岡村 龍治

岩見沢市
(1期)
かわい 清秀

空知支庁
(2期)
北 準一

空知支庁
(1期)
稲村 ひさお

帯広市
(4期)
みつ 文夫

十勝支庁
(3期)
池本 柳次

十勝支庁
(3期)
ささき恵美子

北見市
(2期)
小谷つねひこ

網走市
(6期)
かつや 忠

網走支庁
(3期)
くさか 太郎

宗谷支庁
(1期)
岡島よういち

札幌市議

札幌市中央区
(2期)
藤川 雅司

札幌市中央区
(1期)
長谷川 衛

札幌市南区
(7期)
猪熊 輝夫

札幌市南区
(2期)
三宅 由美

札幌市西区
(4期)
大島 薫

札幌市西区
(1期)
佐藤 右司

札幌市北区
(9期)
湊谷 隆

札幌市北区
(8期)
伊与部 年男

札幌市北区
(1期)
宝本 英明

札幌市東区
(7期)
川口谷 正

札幌市東区
(4期)
藤原 広昭

札幌市東区
(1期)
篠田 江里子

札幌市白石区
(5期)
畑瀬 幸二

札幌市白石区
(1期)
山口 かずさ

札幌市豊平区
(2期)
林家とんでん平

札幌市豊平区
(2期)
峯廻 紀昌

札幌市清田区
(3期)
恩村 一郎

札幌市清田区
(2期)
桑原 透

札幌市手稲区
(6期)
福土 勝

札幌市手稲区
(4期)
小野 正美

札幌市厚別区
(7期)
西村 茂樹

札幌市厚別区
(1期)
小川 直人



経済団体へ賃金改善などを要請

「勤労者の労働条件に関する」要請

連合北海道は19日、北海道経営者協会をはじめとする道内経済6団体(他、北海道経済連合会、北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、北海道経済同友会、北海道中小企業団体中央会)に対し、6項目20点に及び「勤労者の労働条件に関する」要請を行った。

冒頭、佐藤事務局長は「景気は一部回復していると言われるが実感できない。中央では前年を上回る賃上げ結果が出されている。今後、北海道においても交渉が本格化するが、北海道においてもなんとしても前年を上回る結果を出したい。より良い方向へ導くように経営側も尽力を」と申し入れるとともに、

松浦組織労働局長が賃金要求についてはできるだけ3月内に決着できるよう指導を求めた他、正規雇用の拡大と安定、若年労働者の雇用対策の強化やパート労働者の均等待遇の実現など、細部にわたって説明し、理解を求めた。

要請に対し経済団体側は、「北海道の産業構造からして、なかなか賃上げできる企業は少ないのではないか。雇用の維持が最優先」との賃上げ抑制の考えを示した。

さらに、非正社員の正社員化を求めたのに対し、「安易な雇用調整をしているわけではないが、働く側の選択肢もある」としながらも、非正社員の増加について「雇用の二極化は由々しい事態。景気が回復すれば改善されるのではないか」と述べるにとどまった。最賃問題については、「最賃と生活保護基準は別物であり、企業が守れる水準にすべき」との考えを示した他、ホワイトカラーイグゼンプションについては年収基準は別として、「働き方の選択肢が広がる。個人の受託要件を厳しくすれば良い



のではないかと容認の考えを明らかにした。

また、16日に衆議院の厚生労働委員会で季節労働者の短期特例一時金の削減が盛り込まれた雇用保険法改正案が採択されたが、経済団体側は「季節労働者が存在することは否定できない。削減は一大事である」との認識を示したものの、具体的な対策については言及しなかった。この件については連合北海道は19日に「採決は残念。今後、本会議の等において現状維持が図られるよう切に望む」との渡部会長コメントを発出している他、当該産別と通年雇用化への取り組みを継続している。

最後に佐藤事務局長が「非正社員が増えている。同じ仕事をして条件が低いことに不満が広がっている」と重ねて指摘するとともに、「道内の優秀な人材が流失している。労使が協働してなんとかしなければならぬ」と呼びかけた。

この記事のアドレス http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/spring/2007/07_shunjo_09.html



4・5月の主な動き

イベントカレンダー

- 第78回全道メーデー第1回実行委員会
11日(水)13:30 / 連合北海道会議室
常駐者会議
- 17日(火)10:00 / 連合北海道会議室
第6回執行委員会
- 18日(水)10:30 / 連合北海道会議室
安全センター第5回理事会
- 25日(水)13:30 / 連合北海道会議室

【5月】

- 第78回全道メーデー大会
1日(火) / 大通公園8丁目

組員特別優待クーポン誌

2007年

ゆに・ぽん

ゴルフ場
特別企画

ゴルフのおともにぜひご利用下さい。